

4 側臥位 (横向き) の場合

真横を向くと極端にベッドに接する面積が小さくなり身体にかかる圧力が高くなります。30度側臥位をとることで褥瘡の好発部位を除圧し、クッションを用いる事で身体の接する面積を広げ除圧し安楽にする事ができます。

30度側臥位

30度身体を傾ける事で仰臥位 (あおむけ) 側臥位 (横向き) の褥瘡好発部位である仙骨と大転子を同時に除圧することができます。



5 背上げを行う場合

背上げは角度が増すと背部、仙骨へのずれ力が発生します。ずれ力は褥瘡を作ったり悪化させたりします。坐骨でしっかり体重を支えるようにクッションを入れたりして、目的に合った安全で安楽な姿勢にします。



解説者
藤村 宏
(医学療法士)

社会医学技術学院卒。
急性期病院に勤務の傍ら10年以上
訪問リハビリを行い、現在は埼玉県内の
慢性期病院に勤務。

日本褥瘡学会 埼玉県支部役員
関東甲信越地方会世話人

使用商品

	▶▶ P.32 掲載 1312-50 洗える フィット三角柱 クッションII 3.5 で使用 4 で2個使用		▶▶ P.32 掲載 1312-70 洗える フィット三角柱 クッションII 2.3 で使用
	▶▶ P.37 掲載 1681-40 通気3層クッション40 1.3 で使用		▶▶ P.37 掲載 1681-50 通気3層クッション50 1.3-4.5 で使用
			▶▶ P.37 掲載 1681-60 通気3層クッション60 2.3-4.5 で使用